

HANEDA INNOVATION CITY

HANEDA INNOVATION CITY

No. 05-084-2024作成

新築/まちづくり/外構・景観

事務所/研究所/物販/飲食/集会場/病院

発注者	羽田みらい特定目的会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	KAJIMA DESIGN (全体構想、鹿島工区) 大和ハウス工業 (大和工区)	E. リニューアル F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携		
施工	鹿島建設、大和ハウス工業	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性	K. その他			

イノベーションを持続的に生み出す「まちづくり」



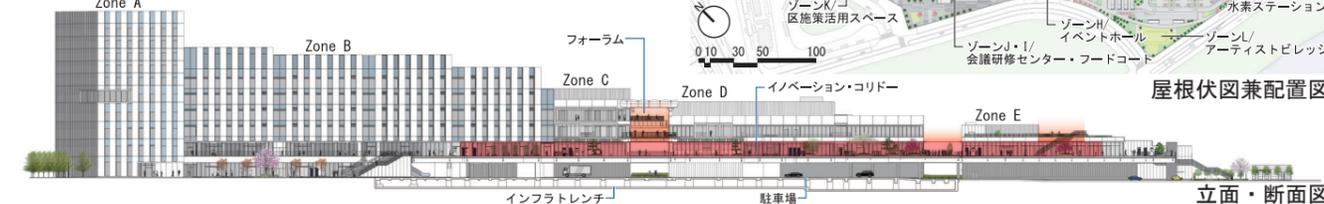
西側全景。「まち」を束ねる中央の「イノベーション・コリドー」が奥へ伸びる。

HANEDA INNOVATION CITYは、鹿島を代表とする9社のコンソーシアムが事業主体となり、羽田空港島の南西に位置する5.9haの大田区所有地を定期借地し、官民連携で整備を行った大規模複合施設である。ものづくりのまちが羽田を通じて世界と繋がるように、この場所は整備方針を世界に向けたショールームとするために「先端産業」と「文化産業」の融合による「新産業創造・発信拠点」と設定された。国際的企業誘致のための研究開発オフィス、ものづくりのためのラボやベンチャー・オフィス、自動走行車の開発拠点と整備場・テストコース、水素ステーションがあり、宿泊施設を併設する会議研修センターなどの複合用途、機能が一棟の建築物となって、羽田空港に隣接した新しい顔となっている。多様な日本文化を発信しつつ、来訪

者が憩い、楽しみ、交流を図るために、イベントホール、商業施設、アーティストビレッジなど、様々な体験を誘発する施設を連ねた。それらの価値を相互に高めあうために、「イノベーション・コリドー」により動線の結節や溜まりなどの仕掛けを作り、「まち」をつくることを企図した。

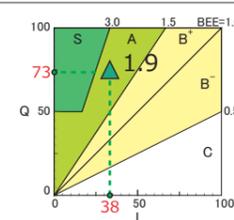


屋根伏図兼配置図



立面・断面図

建物データ	所在地	東京都大田区	省エネルギー性能	BEI (通常の計算法)	0.84	CASBEE評価	Aランク
	竣工年	2023年		BPI (通常の計算法)	0.71		BEE=1.9
	敷地面積	58,947㎡					2016年度版自己評価
	延床面積	130,332㎡					
	構造	S造 (CFT造) 一部、RC造					
	階数	地下1階、地上10階					



デジタルを介した「イノベーション・コリドー」のつくりこみ

「まち」の骨格として、多様な用途の施設の間を横断し、関係づける「イノベーション・コリドー」を設定。このコリドーを利用する人々の交流を促し、賑わいある空間とすべく、デジタル技術を使ったシミュレーションに基づいた環境形成を行った。具体的にはVGA手法で視環境の質を評価しながら植栽やサイ



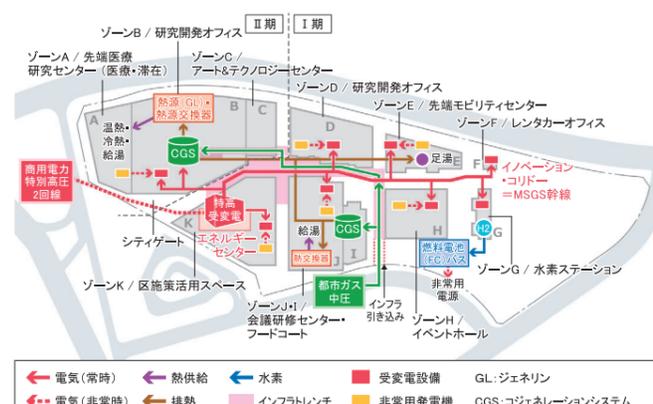
快適性を可視化するシミュレーション

羽田独自の周辺環境を生かした外部空間

羽田イノベーションシティで働くワーカー、訪れる来訪者、先端産業と文化産業の交流というコンセプトに対応し、モードチェンジによる生産性向上、人々の交流を誘発する場としてのテラスやバルコニーを各所に設け、飛行機の発着を眺めながらの足湯など、独自性を持つ快適な空間の提供を狙った。

施設全体のエネルギー有効活用・環境負荷低減

施設全体の電力は特別高圧でゾーンKのエネルギーセンターに受電後、車路下のトレンチを介して各ゾーンへ高圧で配電される。また、中庄都市ガスによるコジェネレーションシステム (CGS) を導入し、排熱をジェネリック熱源や給湯補助に利用し、エネルギーの有効活用を行っている。非常用発電機は、各ゾーンに分散設置し、地震災害時のリスク分散を図っている。各ゾーンの屋根雨水排水はゾーン毎地下ピット内に配置された雨水流出抑制槽に貯留後、また一部外構雨水排水は屋外駐車場下部に設置された雨水中継層経由でポンプアップ方式にて排水する等、雨水流出抑制対策を積極的に実施した。

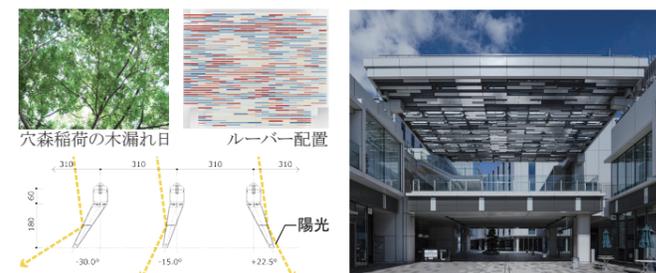


エネルギー供給ダイアグラム

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 3. 対応性・更新性 (イノベーションコリドーやバルコニー等によるリフレッシュスペースの確保、天井高の確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (街並みに配慮した景観計画、長大なボリュームを分節するファサード計画)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (公共空間の提供、緑化計画)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (BPI 0.84)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (BEI 0.71、施設全体のエネルギー有効活用)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (半公共空間、プライベート空間を含めた光設計、雨水流出抑制対策)

ン等の景物を配置、体感温度 (SET) 分布による場の快適性予測に基づく緑陰やベンチを配置した。コリドーの中央に位置する「フォーラム」屋根のルーバーは近くの穴守稲荷の「木漏れ日」を模し、コリドーへ「きらめき」を届けることで自然現象を抽象化しながら原体験の豊かさを再現した。



溜まり、賑わうイノベーションコリドーとフォーラム屋根



足湯スカイデッキとワーカー用の展望デッキ

スマートシティ実現への取組み

モビリティ・ロボティクス・ツーリズム・ヘルスケアの4つの分野を中心に、羽田空港周辺も含めたエリアで様々な実証実験を実施。ロボティクス分野においては清掃や警備、配膳・配送業務へのロボットの導入に向けたインフラ整備、配送能力向上のためのシステム検証。モビリティ分野では交通弱者の移動支援やバスなどのドライバー不足に応える自動運転技術の実証実験を日々行っており、それらの燃料となる水素ステーションも併設する。



水素ステーションと無人バスの実証実験

設計担当者

KAJIMA DESIGN / 統括: 仙波武士 / 建築: 大橋隆男、須都信義、石井英樹、石原大世、杉山弘樹、榎枝潤一、持田文彦、小島敏照、直井 功、松竹利彦、山本裕一、谷口勝之、内藤俊彦、八下 知子、津川 康次郎、浅川毅郎、石津翔太、小林春香、湯川絵実 / 構造: 山口圭介、花岡和弘、山本惇也、岡田純一、鈴木悠史、石川忠志、池寄大輔、遠藤 実 / 設備: 滝村 徹、横山淳一、大坂 泰、谷 泰文、山本 健、大西由佳、河野武史、飯田 純、谷口和信、鈴木順一、阿部 崇、高橋賢伍、山本健太、阿部 舜、興相沙耶、木原勇信 / 外構: ランドスケープデザイン 田嶋 豊 / 照明デザイン: トモルデザイン・メグロ 目黒朋美 / サインデザイン: 八島デザイン 八島紀明
大和ハウス工業 / 建築: 羽田 真也、畑 秀和、渋谷晃彦、根本 創太郎、金 ボラム、前園朋宏、得上隆司、青木 久、生田竜三、福田柗奈 / 構造: 三嶋 巧、藤川佳孝、塚本 肇 / 電気: 濱中孝太、赤木誠志、佐藤 光、太田涼平、布谷太志 / 空調・衛生: 赤尾 成一郎、下山直人、石丸 清